

2017年3月期 第3四半期 決算発表

主な質疑応答

1. 2017年3月期 第3四半期累計の実績について総括してほしい。

2017年3月期 第3四半期累計のグローバル販売台数は、前年同期比1万7千台増の116万2千台と、第3四半期累計として過去最高の販売台数となりました。これは主に、CX-3、新型CX-9、中国での新型CX-4など、好調なクロスオーバー系車種の販売拡大によるものです。地域別では、日本、北米において対前年で販売台数が減少しましたが、欧州、中国、その他市場での増加が上回り、グローバルでは前年同期比1%増の台数成長となりました。

財務実績は、売上高は、2兆3,486億円(前年同期比1,992億円の減)、営業利益は1,020億円(前年同期比714億円の減)、当期純利益は799億円(前年同期比435億円の減)となりました。

営業利益の前年に対する変動は、為替の悪化影響(前年同期比1,018億円の減)が主な要因です。前年に対し円高が進行したことなどによるマイナス影響を、将来に向けた成長投資を継続しながら、コスト改善活動の強化等により最小化を図りましたが、714億円の減益となりました。

2017年3月期通期の見通しは、グローバル販売台数は155万台と11月公表の計画から変更はありません。市場ごとの直近の販売状況及び見通しを反映し、日本・北米の販売台数を引き下げ、主に新型CX-4やMazda3が好調な中国を上方修正しました。財務指標につきましては、営業利益を1,300億円、当期純利益を900億円に減額修正いたしました。

2. 通期見通しを減額修正された背景を教えてください。

営業利益を11月公表から200億円減少の1,300億円に修正いたしました。為替は円安基調が予想されるものの、日本・北米の販売台数を引き下げたことによる影響および品質関連費用の増加を反映したものです。

日本市場において、2月2日より販売を開始しました新型CX-5は大変好評をいただいております。12月中旬に発表後、一か月半で9千台を超える累計受注を頂いております。日本を皮切りに、順次、グローバルに展開してまいります。

商品の拡充をはじめ、引き続き、開発、販売、生産、財務の各領域での取り組みを強化し、構造改革ステージ2のゴールに向け、反転を目指してまいります。

3. 今期見通しを減額修正とのことだが、配当金額に変更はないか？

今期は業績予想を減額修正していますが、年間配当は35円と変更いたしません。財務基盤強化とあわせた安定的な株主還元の上を進めてまいります。